

お口の中をいつまでも "美しく清潔に"保つために





種類

セラミック

"陶器(瀬戸物)の被せ物"

プラスチック

銀歯

"様々な金属が混ざった合金の被せ物"

写真





清潔

セラミックは表面が非 常に滑らかなため細菌(プラーク)が付きにくく 清潔に保てるためむし 歯や歯周病になりにく

美しく変色・着色がほぼない

説明



レジン

セラミックは光沢・透明 感があり天然の歯のよう に自然な色合いで、また 変色・着色(茶渋、ヤニ 等)しにくいため、美し い状態を長く保てる。

割れる可能性

歯ぎしりや食いしばり等により過剰な力がかか る場合、欠けてしまう恐れがある。予防策とし て、高耐久セラミック(ジルコニア)を選択し、 歯ぎしり用マウスピースを使用する。



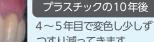
保険適用の部位であれば安価で白い歯を入れる 事ができます。

デメリット

強度が弱く、欠けたり外れたりする事がありま す。また、保険適用の型取りの材料は精度が低 いため、歯型が正確に再現できず(実際の歯の 寸法と、歯型の寸法が一致せず)、出来上がっ た被せものや詰めものと歯の境目に段差や隙間 ができ、そこに汚れが溜まってむし歯が再発し やすくなります。

セラミックに比べると、レジンが混ざっている ため、色調や透明感が劣ります。

また、長期間経過すると変色します。



つすり減ってきます。 10年経つ頃にはこのよう に金属が見えてきます。



むし歯の再発





銀歯は適合が悪いため、 金属と歯の間に隙間や段 差ができやすい。そこに 細菌が入り込んでむし歯

銀歯を外す前 銀歯を外した後 が再発しやすくなる。

腐食性



銀歯と歯の間は隙間や段差ができや すく、そこに歯垢が溜まりむし歯に なる事があります銀歯の中のむし歯 は、レントゲンを撮影しないと見つ

かりづらく、また気づかない間にむし歯が大きくなる と神経を取らないといけなくなる場合があります。

金属アレルギー

銀歯は様々な金属が混 ざった合金で出来てお り、その金属イオンが 溶け出す事で、口腔内 にとどまらず、全身に

アレルギー症状を引き起こす場合がある。金属ア レルギーにより体の不調が起こることがあるが、 診断が難いため、金属は避けるのが無難である。